

**第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会
滋賀県開催準備委員会
第 19 回広報・県民運動専門委員会 議事録（概要）**

1 日時

令和 2 年(2020 年)12 月 24 日（木） 10:00～11:00

2 場所

滋賀県庁東館 7 階大会議室

3 出欠状況

委員 27 名中 17 名出席

出席：上田 重和副委員長、東 登志也委員、井尻 正志委員、糸井 孝実委員、上山 輝幸委員
出口 耕作氏（片山 昇委員代理）、上村 照代委員、呉竹 政彦委員、坂田 しのぶ委員
渋谷 哲也委員、清水 健司委員、清水 純一郎委員、首藤 勲委員、田中 孝昌委員
寺田 佳司委員、廣瀬 香織委員、宮本 英樹委員

欠席：井口 貢委員長、池田 千晶委員、一ノ宮 賢了委員、圖司 紘子委員、高山 幸生委員、
谷口 郁美委員、馬場 大輔委員、村松 泰委員、八木 兵次郎委員、吉成 永部委員

4 配付資料

別添のとおり

5 会議概要

審議事項（1）

※事務局から「第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会の開催延期に伴う
計画等の改正」について説明。委員より以下の意見があった。

【質疑】

<委員>

2 回目の内定について、どのようなスケジュールで内定をもらうのか。

<事務局>

今年の内定は、開催年を変更する再度の内定であり、今年 10 月にすでに内定をいただいている。

<委員>

開催が 1 年延期になることによって計画内容の縮小等はないか。広報についてはすでに一部実施していると思うが延期によって予算の組み直しはされるか。

<事務局>

縮小ではなく令和 3 年度以降のものについては延期させていただく。広報等個別具体のやり方は県のコロナ対策の指針等も踏まえて考えていかなければならないが、実施していくことに大きな変わりはないと考えている。また、予算に関しては、今回改正した計画に従い毎年予算要求していくことになるが、今年度は、開催年の変更に伴い生じる経費について国の支援が得られることとなり、補正予算を組み、啓発物品等の再調達などを行っている。

審議事項（２）

※事務局から「花いっぱい運動における推奨花の選定」について説明。委員より以下の意見があった。

【質疑】

<委員>

P39の「２ 花いっぱい運動の進め方」のところであるが、特別支援学校も参加できると思っている。各種学校の参加を想定されているようだが、その中に特別支援学校も含まれているのか。それとも特別支援学校は別で考えてもらっているのか。

<事務局>

特に別として考えているわけではない。現時点でどれくらいの規模で推奨していけるかというのも検討段階ではあるが、県民運動の一環であることから特別支援学校も含めて多くの学校に取り組んでいただければと思っている。

<委員>

資料に特別支援学校の名称が入っているとありがたい。高等養護は普通に花を作っていたりしているので、協力できないことはないかと思っているので検討していただければありがたい。

<事務局>

そう言っていただけて事務局としてもありがたいと思っている。特別支援学校の名称も含めて検討させていただく。

<委員>

専門委員会から私が選定部会に委員として出席させていただいたが、他の方は花の専門家で構成されており、花の育て方、育ちやすさ、過去10年の先催県の推奨花、県内の農業学校等でどのような花が育てられるのかなども含めて詳細な検討がなされ、36種類から10種類を候補として選定したものである。

<委員>

ビオラはびわ湖をイメージする青い花がないから選ばれたとのことであるが、資料の写真は紫色のように見えるが実際は青いのか。

<事務局>

しっかりした青色ではないが、赤色やオレンジ色の花が多く、青色系の花として選定した。青色というと草津市の「あおばな」があるが、開花期間が合わないという議論はあった。

報告事項（１）

※事務局から「イメージソング・ダンスの制作状況」について説明。

※第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会滋賀県開催準備委員会「広報・県民運動専門委員会」会議公開要領第2条第2項第1号により、非公開で審議。

以上